

自分らしく暮らす。
遠州移住ガイドブック



LA-SEEK

ラ・シーク



LA-SEEK

ラ・シーク

湖西市 浜松市 磐田市 袋井市 森町 掛川市 菊川市 御前崎市

”ふじのくにに住みかえる”静岡県移住相談センター



【東京相談窓口】

JR有楽町駅前 東京交通会館8階 認定NPO法人ふるさと回帰支援センター
[住所]〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
[TEL] 03-6206-3858 [FAX] 03-6273-4404
[email] shizuoka@furusatokaiki.net
[受付時間] 10:00~18:00(月・祝日を除く)

【静岡相談窓口】

静岡県庁西館6階 静岡県くらし・環境部政策管理局企画政策課
[住所]〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
[TEL] 054-221-2610 [FAX] 054-221-3559
[email] iju@pref.shizuoka.lg.jp
[受付時間] 9:00~17:00(土日祝日、年末年始除く)

静岡県西部地域局

〒438-0086 静岡県磐田市見付3599-4 中遠総合庁舎1階 TEL.0538-37-2209 FAX.0538-37-2764 email: seibu-chiiki@pref.shizuoka.lg.jp

令和4年3月発行

LA-SEEK

ラ・シーク

LA-SEEK「ラ・シーク」とは
♪ラララと心はずむ暮らしを表す「LA」と、手に入れようとする・努める・行くという意味の「SEEK」を合わせた造語。自分らしく過ごせる環境を探し求め、理想の暮らしを手に入れることを表現しています。

INDEX

03 移住の好適地「遠州」の情報
ACCESS MAP

05 Interview-1「暮らす」
遠州に移住した方の生の声をご紹介します

13 遠州の魅力
自然・スポーツ・味覚・産業・祭り・歴史
静岡県西部地域の魅力を大公開

17 Interview-2「働く」
移住の先輩たちの
さまざまな働き方をご紹介します

21 静岡県西部地域でテレワークおすすめの
シェアオフィス / コワーキングスペース /
レンタルオフィス

23 数値de比較、シズオカで暮らしたら。
静岡県で暮らすメリットを数字で見える化

25 地域転職情報
転職支援担当者インタビュー
各種相談窓口情報 ほか

29 8市町 移住・定住情報
就労・子育て・住居ほか
全8市町の支援制度をご紹介します

自分らしく
わが家らしく
理想を手に入れる

百人が集えば百通りの幸せのカタチがあります。

あなたは今、自分らしく暮らしていますか。

自然の中で子育てしたい

趣味に費やす時間が欲しい

農業、林業、漁業など自然相手の仕事がしたい

キャリアをいかして起業したい

家族と過ごす時間を増やしたい

ふるさとの役に立ちたい

きっかけや目的は人それぞれですが、

遠州に移り住んだみなさんは

ありのままに、自分らしく、楽しみながら

毎日を丁寧に暮らしています。

そんな移住者たちの

「遠州ライフ」をご紹介します。

温暖な気候、豊かな自然環境 楽々アクセス、全てが揃った、移住好適地。



御前崎市は、日照時間**日本一**
年間快晴日数は、静岡県が**全国第2位**

※1/1981年～2010年の平均値 ※2/2014年度 気象庁「過去の気象データ・ダウンロード」

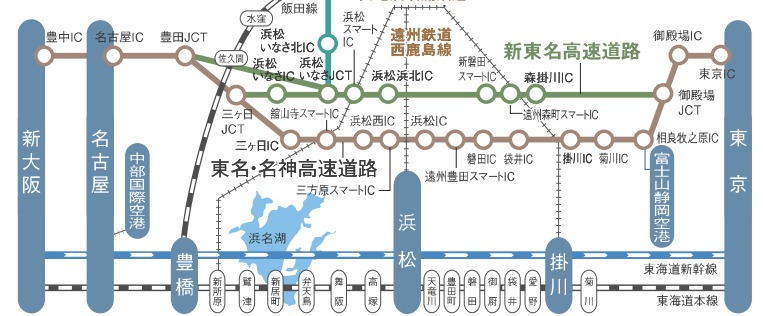
一年中ポカポカ

晴れの日が多く、温暖な
で、一年を通してさまざまな花が
咲き誇り、多種多様な作物が収
穫されます。滅多に雪が降らない
ため、冬の外出も苦になりませ
ん。「遠州のからっ風」と呼ばれ
る強風が吹くこともありませ
が、その風を利用して干し芋な
どの名物が作られ、食卓を彩っ
てくれます。

快適アクセス

掛川・浜松という2つの新幹
線駅があるので、東京・名古屋・
大阪は通勤・通学圏内です。
また、「東名」と「新東名」2本の
高速道路があり、車での移動も
らくらく。東西を貫くJR東海
道線、遠州北部を走る天竜浜名
湖鉄道、都市部と郊外をつなぐ
遠州鉄道など、生活に欠かせな
い鉄道網も整備されています。
空の玄関口「富士山静岡空港」
や「中部国際空港」へのアクセス
も至便です。

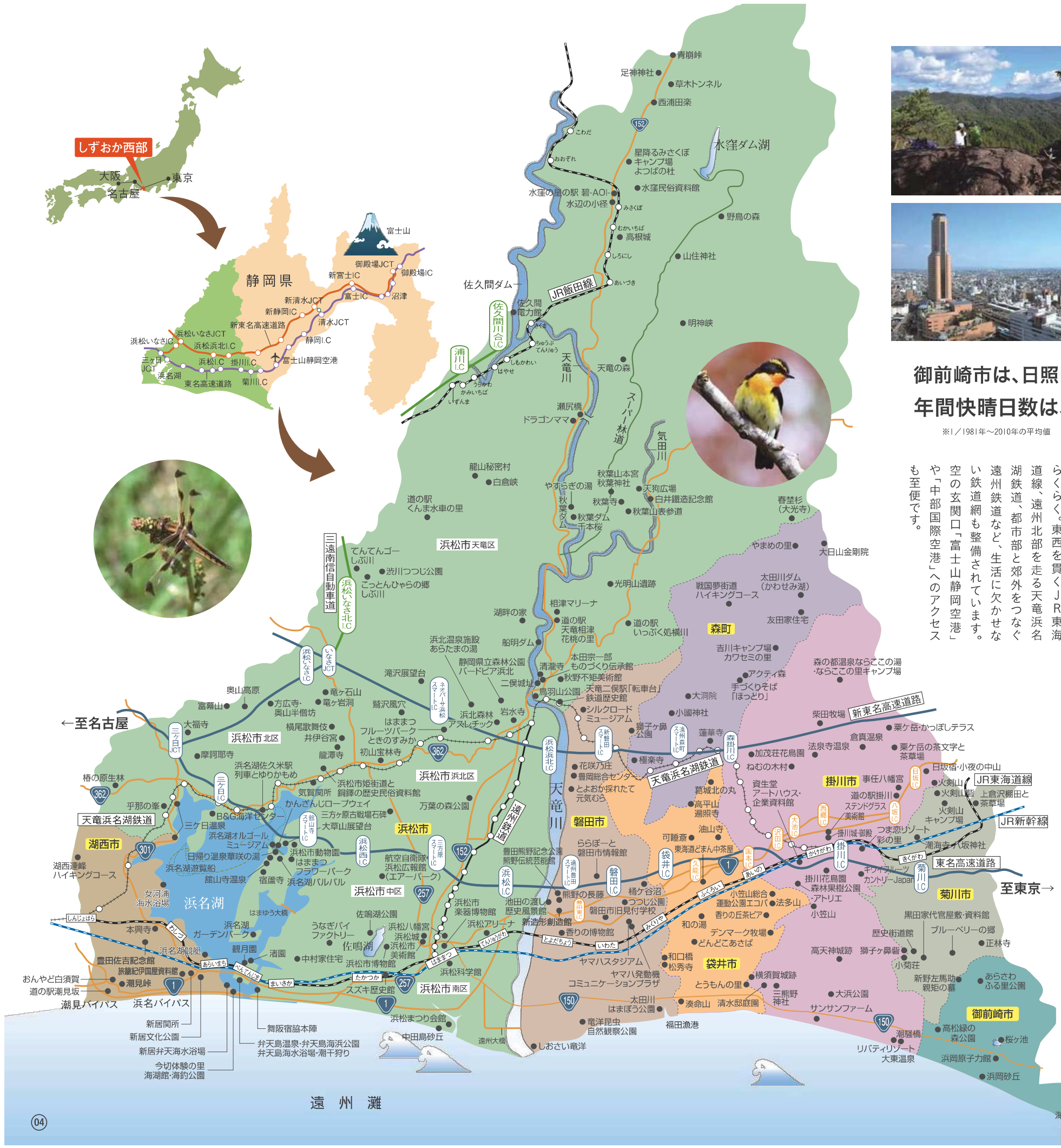
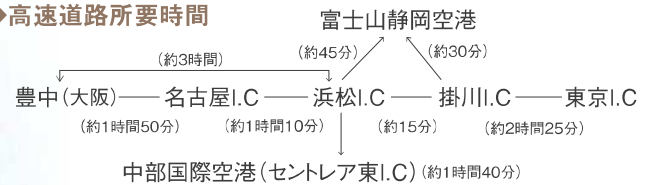
交通アクセス



◆新幹線所要時間

- 東京ー浜松(ひかり約55分・こだま約115分)
- 名古屋ー浜松(ひかり約30分・こだま約45分)
- 新大阪ー浜松(ひかり約85分・こだま約120分)
- 東京ー掛川(こだま約100分) 名古屋ー掛川(こだま約60分)
- 新大阪ー掛川(こだま約130分)

◆高速道路所要時間



しずおか西部

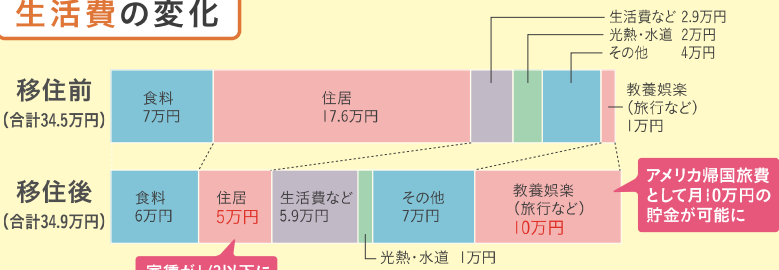


「英会話教室と自宅を两用でき、駐車場のある物件」というのが家探しの条件だった。車数10台は置ける広い駐車場を完備。ご夫婦で営む英会話教室「オレゴンハウス」には、現在80名ほどの生徒が通う。翻訳・通訳の仕事も請け負っている。



「移住成功の秘訣 思い立ったら実行すること！」
 地方都市のアパート暮らしでは、都会暮らしを抜け出せません。一軒家を探し、生活の基盤を整えることが重要ですよ。

**比べてみました！
生活費の変化**



家賃が1/3以下に。10倍に増えた娯楽費は旅費として一年間貯金。移住により、毎年家族で帰国できるようにもなった。

移住の先輩に聞きました
Q 近所づきあいが面倒では？
A 地域差はあるかも知れませんが、私たちが住む地域の皆さんはとても親切です。アメリカでは、子どもの前でお酒を飲むのはご法度なので、お祭りは免除してもらっています。無理して付き合うのではなく、率直に話すことが大切。正直に話せば、結構わかってもらえるものです。

子どもたちの教育はホームスクールで
 成人した長女・長男と同じように、7歳の娘と4歳の息子はホームスクールで学んでいます。だから通学時間はゼロ。毎週金曜日のみ、約10カ国の子どもが集うインターナショナルスクールに通っています。日本ではまだあまり知られていませんが、ホームスクールの良い点は、家族の絆を中心に、効率的に子どものパッションを伸ばし、個性と素質を育めること。娘のジョバンナはバレリーナを目指してレッスンに励んでいます。
 移住により私たちは「のびのびと暮らす」という最高の贅沢を手に入れました。また家賃が大幅に減り、毎年家族でアメリカに帰国できるように。今後の目標は、日本のバリエーションに貢献すること。トムは今、自閉症の子とその家族が学べる英会話教室の設立に取り組んでいます。

LA-SEEK

暮らすインタビュー

帰れるようになりまし 年一回、家族でアメリカに 娯楽費が10倍に！

PROFILE
トム・ビッケルさん ご家族
 職業：英会話学校経営、通訳・翻訳業
 家族構成：夫婦・子ども4人
 (内、1人は米国、1人は千葉県)
 移住歴：17年
 居住エリア：掛川市
 移住前のお住まい：東京都世田谷区



移住後、知万那(ジョバンナ)ちゃん、柊音(シオン)君という二人の養子を迎え、現在も子育ての真っ最中。トムさんご夫婦は、日本ではまだオープンにづらい養子縁組の相談や活動にも協力している。子どもたちの笑顔が幸せの証し。

東京から移住した際、トムさんは当時9歳の長男ローマン君と旧東海道を歩いて引っ越しの事を試みたが、真夏の暑さに負け、無念の電車移動となった。しかし、10年かけ二人で徒歩。その経験をいかし、現在は車椅子の方と旧東海道を歩くことを計画中。ボランティア活動など、トムさんたちが地域に与える影響も大きい。

オレゴン時代から続くご縁で掛川に移住
 留学中のアメリカで私たちは知り合い、学生結婚。その後、日本での旅行会社勤務を経てアメリカに戻りました。オレゴンで生活していた時に、たまたま見つけた数センチの小さな広告、そこにあったのが、掛川市の国際交流拠点である農場『オレゴン生涯学習村』の管理人募集でした。三代目農場長として10年過ごし、一家で東京に移住。子どもたちに、日本文化にも触れてほしいと思ったからです。
 東京の生活は便利でしたが、空気が汚い、お金がかかる、ストレスもたまるといふことで早々に脱出を計画。真っ先に浮かんだのが、管理人時代に訪問した掛川市でした。さっそく市役所に相談して英会話教室等が開ける家を紹介してもらったのですが、なんとその家の持ち主はオレゴンを訪問したことのある方でした。そんなご縁と信頼関係もあり、自由に使える広々とした家を借りることができました。

築130年の古民家を10年かけてリフォーム
 思い立ったら、ゴールを定め計画して実行することが我が家のルール。古民家の内装を少しずつ時間をかけてリフォームしながら、幅広い年代層の生徒さん達が通う英会話教室「オレゴンハウス英会話」を運営しています。また、最近ではサイクリングやハイキング、ホームパーティーの仲間も増え、アメリカンスタイルな日常を地域の方と一緒に楽しんでいます。



とても社交的な柊音(シオン)君。日常会話は英語を話すのが、もちろん日本語もOK。特技は遠州弁。

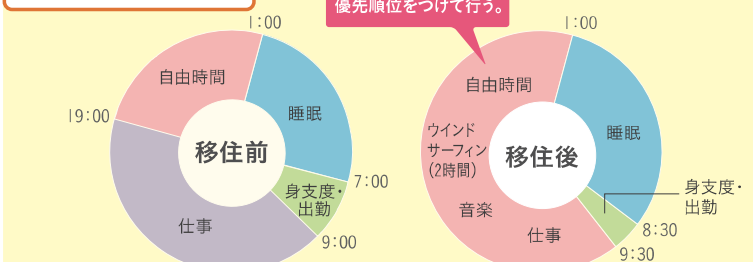


コロラド在住の長女リナさんの結婚式にて、家族の集合写真。2019年にはお孫さんが誕生。





比べてみました!
生活時間の変化



現在は、ウインドサーフィンを生活の中心に据えた自営業の森田さんにとって、24時間全てが自由時間。ペース配分は自分流で。

移住の先輩に聞きました
Q 近所づきあいが面倒では?
A 家を建てたその年に伊勢講の担当が回ってきました。戸惑いましたが、郷に入っては...というところで、とりあえず参加してみること。お葬式やお祭りなどの風習も、ちょっと面倒ですね。でも、エイツと飛び込んでみるのも。早く地域に溶け込むきっかけになることもあります。



移住成功の秘訣
迷ったら、動け!
動かない人は、ずっとそのままです。移住して初めてわかることもある。俺の人生これでいいの?と思った時の行動が、大きな差をもたらします。

目標は、現状維持。上がりすぎて、下がってもダメ! 信用を失わないように、一日一日を精一杯生きる。聖地・御前崎で、憧れていたローカルサーファという暮らしを実現した森田さんは、自分らしく誠実に挑戦を続けている。



2016年、自宅横に完成・独立開業した仕事場。天気・風・波の三拍子揃えば、海へ直行する。2時間ほど楽しんだ後は、自分のペース配分の中で仕事を完結。その間には、音楽やDIYほか多様な趣味も組み込まれている。ガレージやウッドデッキではライブも開催。



移住当初は、まずディーラーに就職し、生活基盤を作ってから海に入ったという森田さん。中古車販売店勤務を経て独立した今は、ウインドサーフィン仲間、ディーラー時代のお客さん、紹介のお客さんなどGarage580の輪が広がっている。

私の自由時間。
24時間すべてが
移住後の楽しさは無限大。



LA-SEEK
暮らす
インタビュー

PROFILE
もりた ひとし
森田 仁さん ご家族
職業:自動車整備士、中古車販売業(自営)
家族構成:夫婦・子ども3人
移住歴:24年
居住エリア:御前崎市
移住前のお住まい:京都市

芸人が東京を目指す如く
ウインドサーフィンの
聖地「御前崎」に移住

車の所有台数の多い静岡県なら、京都より整備の仕事は多いはず。そんな確信があったので、迷うことなく、ウインドサーフィンの聖地「御前崎」への移住を決行しました。

夏休みに御前崎に来ていたら、地元誌でディーラーの求人を見つけたんです。すぐに連絡して面接したら、合格。アルバイト探しも会社にお願ひし、一ヶ月ほどで移住しました。当時は26歳、独身時代のことです。京都にいた頃より収入は減りましたが、もっと練習するために、上を目指して実現した移住生活なので、心は満たされていました。

仕事をしながら
探しまくった理想の地

移住の一年後、京都から彼女を呼び寄せて結婚。最初はアパート暮らしでしたが、その後借りた古い一軒家から立ち退くことになり、家を建てることを決意しました。

海抜20m以上、西風を防ぐ、豚舎の臭いが届かない、オーシャンビュー。かなり前から、仕事で走り回りながら、この4つの条件を満たす場所を探していました。台風や西風が強い日は、目を付けた土地に行き、風や周囲のサビ具合をチェック。そして手に入れたのが、現在の土地です。イメージ通りの自慢の我が家が完成しました。借家の頃と大きく変わったのは、近所づきあい。文化・風習の違いもありましたが、まずは体験!という心意気で地域に飛び込んで行きました。



森田の「M」をあしらったGarage580の看板が目印。自宅ガレージ上につらえた、遠州灘も見下ろせるウッドデッキは、家族・友人たちの交流の舞台。ウインドサーフィン世界大会参加の外国人選手なども訪れる。



LA-SEEK

暮らす インタビュー

PROFILE

はせがわ かん
長谷川 乾さん

職業：農業・カフェ経営
家族構成：夫婦
移住歴：7年
居住エリア：浜松市
移住前のお住まい：
東京都(広島県出身)



年間60種類の野菜を栽培。
インターネット販売で
全国にお届けしています。

LA-SEEK

暮らす インタビュー

PROFILE

いのうえ さゆみ
井上 紗由美さん

職業：浜松移住
コーディネーター
家族構成：夫婦
移住歴：8年
居住エリア：浜松市
移住前のお住まい：
東京都(浜松市出身)



自由時間が0から6時間に。
四季を肌で感じる環境は
心を豊かにしてくれます。



移住成功の秘訣
先輩移住者の話をきくこと。
そこから様々な縁が繋がります。移住後も自分から地域に出て行くことが大切です。

無農薬で育てた季節の野菜を10種類セットにしてネット販売している。色とりどりの野菜は、子育て中のママたちに人気。



奥浜名湖の景観に一目惚れ 耕作放棄地で念願の農家に

以前は、東京でウェブプロデューサーをしていました。しかし、東日本大震災と被災地ボランティアを経験して無力感に苛まれ、地球と調和しながら「真の生きていく力」を身に付けたいと思い、農業ができる移住先を探しました。そして巡り合ったのが、元保養所という広い住まい。目の前に広がる奥浜名湖のロケーションが、20代の頃、世界を放浪していた時に見た地中海にそっくりで、一目惚れして即決しました。

移住後は、ロケットストーブなど有事にも活用できるワークショップを開いていますが、その参加者とのご縁で湖西市の耕作放棄地を借りることに。MARU FARMという農園名で念願の農業をはじめることができました。刈り草、ススキ、落ち葉、米ぬかなど里山にある自然資材を活かして行う循環型農法で、年間約60種類の野菜を育て、旬の野菜セットをネット販売しています。

また、客として通っていた三ヶ日駅舎内のカフェを引き継ぎ、妻と一緒にハンバーガーショップも経営。キャパシティを超える充実の日々、悲鳴をあげています(笑)。



移住成功の秘訣
事前に足を運び、まちの雰囲気を感じる事が大切。
地元の方と接し、地域をよく知ってから住むことをお勧めします。

家の周りは、夜はしっかり暗くて星もきれい。車などの人工音も少なく、鳥の声や花々を見て四季を感じる環境は、本当に心を豊かにしてくれます。埼玉出身の主人も、休日には浜名湖で釣りをして、自ら調理。のんびり過ごす時間が増えたので、夫婦それぞれにスローライフを楽しんでいます。

山間地域の空き家を持ち主の方と直接契約した納得の一軒家。倉庫横の畑では、季節の野菜作りを楽しんでいる。

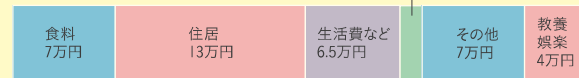
地域おこし協力隊に応募、ふるさと浜松にUターン

東京にいた頃は、残業も多く、満員電車で揺られて家と職場を往復する毎日。そんな生活に限界を覚えた時、ふと祖父母が住む浜松市天竜区の自然を思い出しました。自然と寄り添う暮らし方に興味を覚え、先人の知恵を残さねば!と思い、地域おこし協力隊に応募。まずは単身で移住しました。現在は、浜松市の移住コーディネーターとして、移住希望者のサポートをしています。移住するのであれば、その前に何度も現地を訪れ、人や環境を含めてその地域の雰囲気を感じる事が重要です。肌で感じる相性のようなものがあるんです。私自身も、今住む地域を気に入って、それから地元の方の協力で一軒家を紹介してもらいました。

比べてみました!

生活費の変化

移住前 (合計39万円)



移住後 (合計25.5万円)



1ヶ月あたり13.5万円減!

移住前は飲みに行く機会も多かったが、移住後はもっぱら家飲み。家計の節約だけでなく、作った野菜を無駄なく使い切るため奥様の料理の腕が進化するという相乗効果を生んでいる。スローライフをイメージした就農だったが、夜は出荷準備などに追われることも。ライフワークバランスの調整が今後の課題。

移住の先輩に聞きました

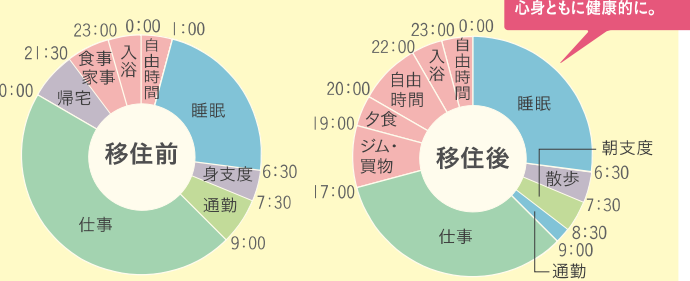
Q 移住して気づいた事は?
A 浜松は温暖すぎて冬でも作物が育つ。農閑期のないことに、農業を始めてから気づきました(笑)。やってみて気づくことが沢山ありますが、それも楽しみの一つ。

国の登録有形文化財にも登録されている、三ヶ日駅。その構内にあるグラニーズバーガー&カフェを2018年に引き継いだ。現在、カフェとMARU FARMを共同で運営する仲間を募集中。農業ボランティアも歓迎。



比べてみました!

生活時間の変化



仕事や通勤時間が減り、自由使える時間が激増。心身ともに健康的に。

移住して睡眠時間5時間以下、平日は通勤と仕事で1日が終わるという生活が激変。朝食前の散歩や終業後のジム通い、帰宅後の自由時間などゆとりが大幅に増え、心身ともに健康的な暮らしを手に入れた。高速道路のICも近いので、名古屋や東京など休日の行動範囲も拡大。

移住の先輩に聞きました

Q 移住にあたり不安だった事は?
A 運転(笑)。浜松では車が必需品なんです。山間地域なので信号機が少なく、道幅も広かったため、生活しながら慣らしていききました。

移住前と大きく変わったのは、お惣菜などを買わなくなったこと。畑で作った野菜、地元の新鮮食材などを使ってスローフード&スローライフを実践。桜の塩漬や梅干し、酵素ジュースなども手作りしている。



LA-SEEK

働く(フリーランス)
インタビュー

PROFILE

長濱 裕作さん ご家族

職業:
・フリーランス(ライター・講師・
コミュニティマネージャー)
・ゲストハウス経営・自営農
家族構成:夫婦・子ども3人
移住歴:4年
居住エリア:掛川市
移住前のお住まい:
千葉県(掛川市出身)



移住前は単身赴任。
子どもと過ごす時間は15倍
妻との時間は30倍になりました。

LA-SEEK

働く(テレワーク)
インタビュー

PROFILE

大竹 尚美さん ご家族

職業:ゲームアプリの
企画・開発
家族構成:夫婦
移住歴:1年
居住エリア:菊川市
移住前のお住まい:
神奈川県(群馬県出身)



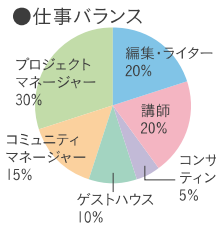
家賃がおよそ1/2に!
生活費が抑えられ
家族と過ごす時間も増えました。



環境問題を考える中でいきついたのが、昔ながらの日本の生活。不便さも楽しみの一つと笑う。古民家を利用したゲストハウス「どこにもない家」では、干し野菜や畑の作物で作る素朴な家庭料理でもてなしている。

移住成功の秘訣

暮らしイメージができてから移住を理想の人生を考え、気になる場所にはまず足を運び、過ごしてみたら移住することをお勧めします。何日か泊まってみたいと思います。



暮らしイメージができてから移住を理想の人生を考え、気になる場所にはまず足を運び、過ごしてみたら移住することをお勧めします。何日か泊まってみたいと思います。

自然豊かな環境と古民家にひと目ぼれ「半農半X」の自分らしい暮らし
東日本大震災を経験し、会社や社会インフラに依存する暮らしは非常にリスクがあると実感。以来、一つの仕事にこだわらず複数の仕事を持ち、お金を使わずとも生活できる基盤(場所や人間関係)や知恵を手に入れたらいいなと思っていました。妻と私の実家にも近く、畑もあるこの古民家を見つけた時には移住を即決しました。

理想は、半分農業、半分仕事。家の裏には畑もあり、ゲストハウスのお客様にも自家栽培の野菜を提供しています。仕事面では、オンラインツールを駆使し、ライターやプロジェクトマネージャーほかさまざまな仕事をしています。ほぼ9割がオンラインで完結する仕事。すきま時間を利用して、家事や子どもの世話、畑仕事も楽しんでいます。



実際に来て、見て、感じる
混み合う都心を離れてみて、じつは都心がいまより好きではなかったことに気がきました。移住先に何程度か足を運んで感じていることをお勧めします。

移住成功の秘訣

夫婦揃って温泉が好きなので、休日はスーパー銭湯めぐりリフレッシュ。都内よりも広く、空いているのが嬉しいですね。夫と過ごす時間も増え、皆さんにも大切にしてもらえているので菊川に来て本当によかったと思います。

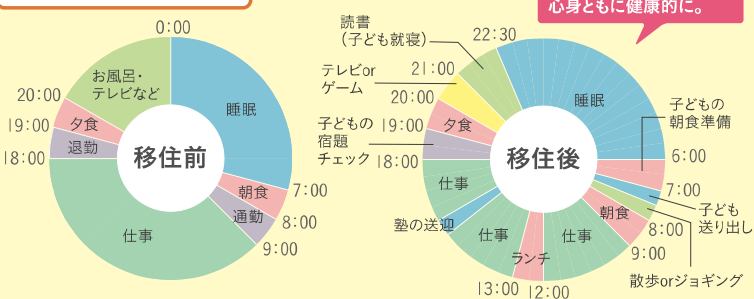
私は株式会社 enish という会社で「ぼくのレストラインII」ほかゲームアプリの企画・開発をしています。新型コロナウィルスが流行し始めると、早々に全員テレワークとなったので移住に支障はありませんでした。移住してみたらネット利用のピークタイムもなく今のほうが快適です。現在も、ほぼ100%テレワーク。ミーティングもオンラインですし、月一回程度の出社も掛川駅から新幹線を利用して2時間以内と交通の便も良いです。リビングから眺める景色も美しく、リラックスして仕事ができます。

以前の住まいは神奈川県川崎市、夫婦ともに都内に通勤していました。マンションの更新が近いこと、夫が実家の和菓子屋を継ごうと思っていたこともあり移住を決断。半年ほどで引っ越してきました。菊川は自然豊かで気候もよく、人が親切。のびのびと暮らせています。

テレワーク環境も快適!
自然豊かな癒しのある暮らし

比べてみました!

生活時間の変化



仕事や通勤時間が減り、自由に使える時間が激増。心身ともに健康的に。

移住の先輩に聞きました

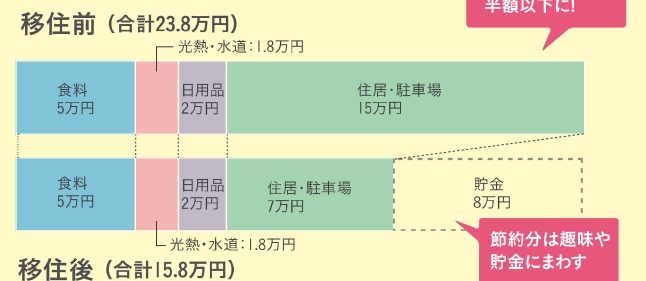
Q 移住後の子育てへの影響は?
A 都会生活でありがちで「大声を出しちゃダメ」「走り回っちゃダメ」といった注意をしなくなり、子どもたちのものびのび暮らせ、親のゆとりもできました。

2021年10月に「街づくり」を任務とする会社を夫婦で設立。コミュニティづくり、掛川市を盛り上げる取り組みをしたいと語る。事務所の1階には、移住後知り合ったまちづくり仲間のカフェ「スッカ」がオープン。



比べてみました!

生活費の変化



移住後の住まいは以前より広くなったにも関わらず、家賃は半額以下に! 浮いたお金は、堅実に貯金にまわしている。夫の実家や親戚からおかずや食材のおすそ分けもしばしば。金銭的&心理的にも暮らしやすいことを実感している。

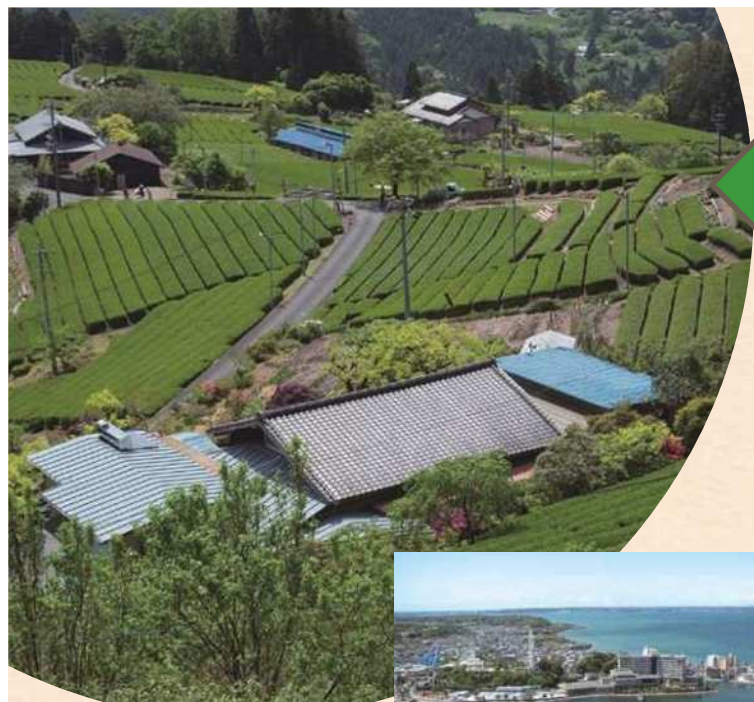
Q 都会と比べて暮らしやすさはどうですか?
A クルマ社会なので重い荷物もラクラク運べます。ネット通販も都会と変わりません。

夫の実家は菊川駅近くの老舗和菓子屋。3代目の父が考案した看板商品「かりんとうまんじゅう」、4代目の娘さん考案の「ビスターおもち」ほか、初代から継がれる何十種類もの菓子を手作りしている。お店に立つことはなくても、POPをデザインしてお手伝い。妻がイメージを伝え、夫が菓子を撮影するなど、夫婦合作のPOPが店を飾っている。



遠州の魅力

遠州は、ごはんが美味しい、祭りが熱い、スポーツが盛ん、偉人が多い。「やらまいか!」というチャレンジ精神が旺盛な遠州では、日々の暮らしをとことん楽しむ気風とステージが整っています。



▲三倉・大久保地区【森町】

起伏豊かな山肌一面に広がる茶畑、点在する民家。農の営みと暮らしが息づく絶景が広がる。



▲浜名湖【浜松市・湖西市】

周囲141km、太平洋と接する汽水湖。鯉などの養殖地として知られ、マリレジャーも盛ん。

▲千榎の棚田【菊川市】

日本の原風景を思わせる美しい棚田。地元では千榎と呼ばれ、今でも6月に田植え、10月に稲刈りが手作業で行われる。



▲桶ヶ谷沼【磐田市】

国内のトンボのうち約3分の1の種類が確認されている沼。四季折々の野鳥や水生植物も観察できる。



▲太田川の桜堤【森町】

堤防約2kmにわたり、1000本のソメイヨシノがアーチを作る。開花中はライトアップもあり。

自然



▲あらかわふる里公園【御前崎市】

里山の豊かな自然を散策できる。4〜5月、約70匹が天空を泳ぐ「鯉のぼりあげ」は圧巻。

▲浜餃子

たっぷりの野菜と薄めの皮、円形に焼きあげた中央に、もやしを添えるのが定番のスタイル。



▲三ヶ日みかん【浜松市】

日当たりのいい傾斜地で育つ三ヶ日みかんは、糖度が高く、酸味のバランスが絶妙で、コクを感じる美味しさ。100%果汁のジュースも人気。



▲カツオ【御前崎市】

活きのいい春の「初カツオ」から脂がのった秋の「戻りカツオ」まで、折々の味わいを堪能。

味覚

▼お茶

県内有数の茶産地で、深蒸し茶、浅蒸し煎茶など種類も豊富。産地ごとの美味しさを楽しめる。



▲マスクメロン

品種名を訳すと「伯爵のお気に入り」。その名の通り、美しい網目と極上の甘みと香りが特徴。



▲うなぎ

蒲焼き、白焼き、ひつまぶし、肝焼きなど食べ方もいろいろ。養殖・加工業者の直売所もある。



▲ヤマハスタジアム【磐田市】

観戦しやすさ日本一と評判のヤマハスタジアム。ホームゲームの日は巨大バックスタンドがサックスブルーに染まる。



▲湖西連峰ハイキングコース【湖西市】

浜名湖を見下ろしながら標高400m前後の山脈を歩く。初心者にも優しく、家族連れにも人気。



▲ウインドサーフィン【御前崎市】

毎秒10m以上の強風が吹く世界に誇るセイリングスポット。世界中からプロサーファーが訪れる。



▲はままつフラワーパーク【浜松市】

四季折々3,000種の植物が咲き誇る。「大噴水ショー」や園内を走る「フラワートレイン」も人気。



▲掛川花鳥園【掛川市】

動かないことで話題のハシビロコウをはじめ、ペンギンやインコなどの鳥や花々と触れ合える。



▲御前埼灯台【御前崎市】

1874年から海の安全を守り続ける白亜の灯台。伊豆半島、富士山、遠州灘など360度見渡せる。



▲東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」【掛川市】

定番スポーツからマイナースポーツまで100以上の多彩なプログラムがあり、子どもからシニアまで楽しめる。

▲エコパスタジアム【袋井市】

5万人収容の多目的競技場。スポーツや音楽、文化・芸能まで、さまざまなイベントを開催。2019年ラグビーW杯で日本がアイルランドに歴史的勝利。



▲火剣山キャンプ場【菊川市】

大自然に囲まれた四季を味わえるキャンプ場。バンガロー、オートキャンプサイト、温水シャワー施設も完備。



▲ならこの里キャンプ場【掛川市】

森と清流に囲まれた、四季折々の自然が美しいキャンプ場。バンガロー、コテージも利用可能。



▲竜洋海洋公園【磐田市】

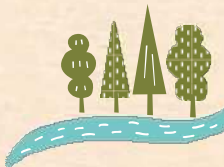
遊具やスポーツ施設、キャンプ場、入浴施設などを備えた海辺の公園。夏はプールもオープン。



▲川あそび

渋川親水公園やアクティ森、くま水車の里など、ちびっこでも安心して遊べる水辺が豊富。

スポーツ・レジャー





▲オートバイ産業

本田宗一郎を育んだ遠州は原動機付自転車発祥の地。ホンダ、ヤマハ、スズキという世界的バイクメーカーがこの地で誕生。その技術は、高精度を誇る部品工場に継がれている。



▲自動車関連産業

トヨタ、ホンダ、スズキ、ヤマハ発祥の地で、昭和30年には日本初の軽自動車が生産された遠州。



▲林業

遠州地方の森林は「天竜美林」と呼ばれる日本三大美林のひとつ。間伐材は家づくりなどに活用。



▲楽器の製造・販売

楽器生産・販売量が世界トップクラスのヤマハを中心に、中小の協力メーカーが集まっている。

▲農業(野菜生産)▶

中間山地、平野部、台地など、豊かな地形を活かして種類豊富な野菜を栽培。新野菜の産地としても有名。



▲世界農業遺産 茶草場農法[掛川市・菊川市]

秋から冬にかけて茶園周辺の草を刈り、畝間に敷き詰める伝統的農法。豊かなお茶の香りや風味が特徴です。

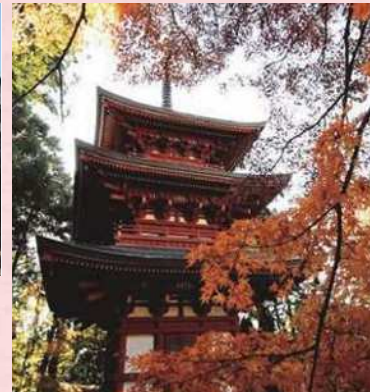
▲法多山 尊永寺[袋井市]

725年聖武天皇の勅により創建された真言宗の寺。参拝帰りは、名物「厄除け団子」でちょっと一服。



▲新居関所[湖西市]

入鉄砲と出女を厳しく取り締まった関所跡。安政年間の建造で、日本で唯一関所建物が現存している。



▲醫王山 油山寺[袋井市]

701年創建の真言宗の古刹。眼病のご利益で知られ、「あぶらやま」の呼び名で親しまれている。



▲掛川城[掛川市]

山内一豊が10年間城主を務め、天守閣や城下を整備した東海の名城。御殿と太鼓櫓は江戸時代の建造物。

▲遠江國一宮 小國神社[森町]▶

境内は古代の森と呼ばれ、大社造の神殿を囲うように樹齢数百年の老杉が茂る。桜や紅葉の花見スポット。



▲ふくろい遠州の花火[袋井市]

花火と音楽で夜空を彩る「メロディースターマイン」、迫力満点の「空中ナイアガラ大富士瀑布」は必見。



▲浜松まつり[浜松市]

昼間は大風がまう風揚げ合戦、夜の御殿屋台の引き廻しと激練りは圧巻。浜松っ子の熱い3日間が展開される。



▲潮海寺 八坂神社・祇園祭り[菊川市]▶

市の無形民俗文化財に指定されている「潮海寺祇園おはやし」に合わせて、屋台が仁王像の石段を下り上がる。



▲浜松まちなかコンサート[浜松市]

浜松駅前北口広場がコンサート会場に!市内ジャズ団体の演奏や合唱団体の歌声を無料で楽しめる。

祭り



▲掛川祭[掛川市]

掛川城をバックに、日本一大きい獅子舞、大名行列、お囃子の調子に合わせて屋台などが練り歩く。



▲山名神社天王祭舞楽[森町]▶

夕刻から奉納される舞楽の中でも、昆虫のかつらをつけて舞う「蠶郷の舞」は全国的にも珍しい。国の重要無形文化財。



▲遠州新居手筒花火[湖西市]

笛・太鼓・ほら貝が鳴り響く中、手にした筒は火柱をあげ、火の粉がふりかかる。江戸中期から続く伝統行事。市指定無形民俗文化財。



▲遠州横須賀 三熊野神社大祭[掛川市]

シタツ!シタツ!の掛け声とともに、神輿の御渡りと華やかな13台の練り(ねり)が引き廻される。

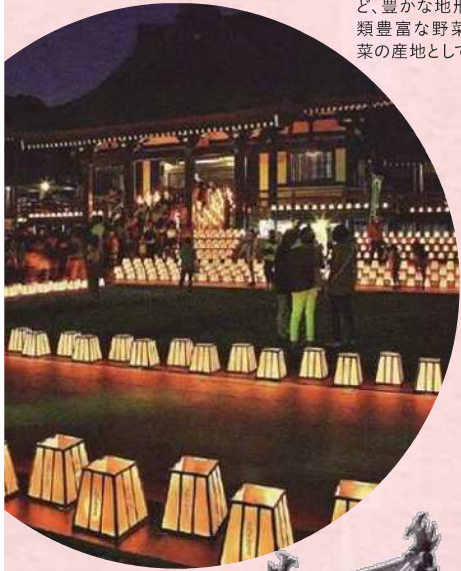


▲見付天神裸祭[磐田市]

夏の夜、ふんどしと腰巻をつけた千人の氏子が町を練り歩き、拜殿内の鬼踊りで最高潮を迎える奇祭。国の重要無形民俗文化財。

▲熊野の長藤[磐田市]▶

謡曲「熊野」で有名な熊野御前の墓がある行興寺。樹齢800余年の天然記念物をはじめ、1.5mもの長藤が境内に咲き誇る。



歴史